



中の
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

目指す学校像：「笑顔と心のある学校」

村上市立荒川中学校

令和2年度第4号

令和2年7月13日発行

全学年で一体となった学習の取組

梅雨の季節とはいえ九州地方の豪雨は、多くの人命を奪い、甚大な被害を出しました。心よりお悔やみ申し上げます。関東地方中心に感染症の収束も見えず、心配されます。新しい生活様式により、健康と安全を守っていきましょう。これから、夏本番を迎えます。

定期テストが終わり、生徒はほっとしているようです。終業式まであと少しです。締めくくりをしっかりとしていきます。学習で一番心配されたことは三年生の内容が、余裕をもって終えられるかということだと思います。最近、県教委から高校入試の出題範囲が一部ほど削減されるといふ通知がありました。私たちは、少し余裕ができて、より丁寧に授業を進めることを確認しました。先月は定期テストに向け、全校で一体となった取組をしました。初めてテストを受ける一年生に向けて、二年生がアドバイスしてくれました。テスト勉強計画表の生かし方などを廊下に掲示し、頑張りました。二年生には受験生の三年生が、過去の経験から気持ちを引き締めるように助言しました。そして、三年生は最高学年として、テストを迎える意気込みを学年朝会で発表しました。これらのことは、各学年のたより等で、紹介したとおりです。

各学年ともお互いによりよい形で刺激し合い、真剣に授

校長 渡辺 安治

業に取り組みました。授業中、静かな中にも真剣にノートを取り、集中している姿がありました。そこからは、自らの力を精一杯発揮し伸ばそうという意欲が感じられ、荒中生徒の素晴らしさを再確認しました。

先日の全校朝会では、「社会を明るくする運動 作文コンクール」で特別賞を受賞した生徒の紹介をしました。最近では、何よりの明るい話題となりました。文には犯罪を生まない取組として、三点が紹介されました。一、あいさつと会話でコミュニケーションを取ること。二、会話でわかり合えたり歩み寄りたりすること。三、地域での活動に参加して、つながりを深めること。三、自分の身は自分で守ること。社会を明るくするために自分がどんな気持ちで、どう考え、どう行動すればよいかを私も一緒に学びました。まずは、私自身が明るい気持ちで、行動するということでした。

スタートが遅れ心配された一学期でしたが、保護者の皆様から、生徒を元気に送り出してほしい、大きな事故やトラブルを防止できました。また、地域の皆様には登下校を温かく見守っていただき、地域での活動で大変お世話になりました。深く感謝いたします。今後とも、どうぞよろしく願います。